

イクケン香川情報発信事業 昨年続くPR映像、第二弾！
～うどんをすする音で、赤ちゃんは本当に泣きやむのか！？～
うどん県副知事・要潤さんによる、検証ムービー公開！

10人の赤ちゃんのうち、9人が泣きやむという結果に！！

9月16日(金)公開 <https://youtu.be/AJ-2uqQ2YqQ>

香川県では、少子化の流れを食い止め、長期的には、出生率の向上等により人口増への転換を図るため、次代を担う子どもたちを安心して生み、健やかに育てることができる「子育て県かがわ」の実現を目指し、結婚から妊娠・出産、育児まで切れ目ない支援を行っています。

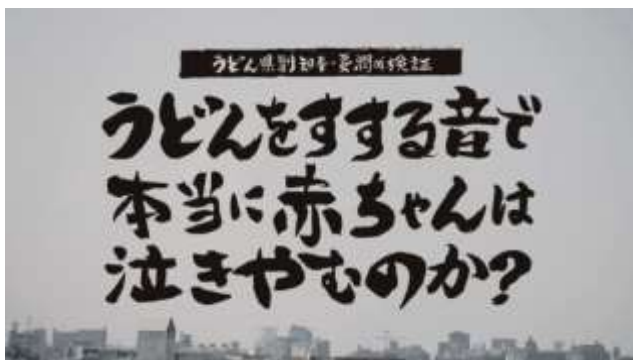
また、温暖で災害が少なく、コンパクトな中に都市の利便性と豊かな自然が調和した、子育てに最適な環境であることから、「日本一子どもを育てやすい県」を目指し、それを香川県内外にPRする『イクケン香川』情報発信事業を昨年より展開しています。

要潤さんが出演のムービーを公開、イクケン香川 2016 を始動します。

香川県は、2016年9月16日、「イクケン香川 2016」を始動、昨年に引き続き「うどん県」副知事・要潤さんが出演したイクケンムービーを公開いたします。

昨年は、「赤ちゃんが胎内で聞いていた母親の腸や心臓の音と、うどんのすする音が似ている」という観点から、うどん県の県民が奏でる「ずずずっ」という音によって赤ちゃんが泣きやむというPRムービーを公開し、大きな反響を呼びました。

そして今年は、そんなうどんの隠された力を実証するべく、うどんをすする音で、本当に赤ちゃんが泣きやむかを検証するムービーを制作。泣いている赤ちゃんを探し歩く、要潤さん。そして、赤ちゃんの目の前でうどんをすすり、泣きやませることに挑戦していく驚きの検証映像となっています。はたして、その結果やいかに……



本編映像「検証！うどんをすする音で本当に赤ちゃんは泣きやむのか？」篇

10人の赤ちゃんのうち、9人が泣きやむという結果に！！

撮影は、7月6日及び7月7日に実施。10人の赤ちゃんを対象に、うどんの力の実証実験を行いました。

実施日：2016年7月6日及び7日

対象者：生後3カ月～12カ月の赤ちゃん10人

場 所：関東近郊エリア

うどん：讃岐うどん（ぶっかけ／冷や）



「日本一小さい県は、日本一子どもに目が届く県だ。」 要潤さんの新しいビジュアルとともに、イクケン香川をPR！



ポスター

香川県は、面積が日本一小さい県ですが、人口密度は全国11位。豊かな自然に囲まれながらも、「居住環境、子育て」「芸術文化」「新鮮・安心な食べ物」「医療・福祉の充実」「交通が便利」といったアドバンテージを持つ、まさにハイブリッドな県です。

イクケン香川の新たなビジュアルは、「日本一子どもに目が届く」ことをアピールするデザインをコンセプトに制作。香川県出身で、うどん県副知事でもある要潤さんが、出産や育児における様々なモチーフの模型を手のひらに乗せて見守っているビジュアルとなっています。



イクケン香川サイト ikuken-kagawa.com

子ども一人ひとりの成長にしっかり目を向け、さんさんサポート事業をはじめとした多子世帯への支援や、妊娠や出産、育児に関する悩みや不安などの相談、「地域子育て支援拠点」の設置推進などさまざまな取り組みを行っており、結婚から妊娠・出産、育児まで、切れ目のない支援の在り方が香川の特長です。